

# 令和4年度農作物病虫害発生予察注意報第3号

令和4年(2022年)7月4日  
山口県病虫害防除所

病虫害名 野菜・花き類のオオタバコガ

1 発生地域 県内全域

2 発生程度 多

3 注意報発令の根拠

- (1) 山口市大内のフェロモントラップによる6月の誘殺数は、過去10年で最も多い55頭(平年11.1頭)で、平年の約5倍となっている。
- (2) 福岡管区気象台の1か月予報では、7月の気温は高く、降水量はほぼ平年並みとされており、オオタバコガの活動に好適な気候が続くと考えられることから、ナス、トマト等の果菜類やリンドウ、キク等の花き等広範囲の農作物被害が懸念される。

4 防除方法

- (1) 7月上中旬が防除適期と予測されるため、早急に防除を実施する。  
山口県病虫害防除所ホームページの発生予察情報等を参考に薬剤防除を実施する。  
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22319.html>
- (2) ほ場を定期的に観察して早期発見に努め、若齢幼虫のうちに薬剤防除を徹底する。
- (3) 被害部位(茎葉、花蕾、果実等)などの残渣は、卵や幼虫が付着している可能性があるため放置せず適切に処分する。
- (4) 施設栽培では、開口部に防虫ネットを設置し、成虫の侵入防止に努める。
- (5) 防除薬剤は、農作物病虫害・雑草防除指導基準を参考に選定する。  
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22316.html>

5 防除上注意すべき事項

- (1) 茎、花蕾、果実に食入した幼虫や、発育が進んだ幼虫に対しては薬剤の効果が著しく低下するので、適期防除を心掛ける。
- (2) 薬剤抵抗性を発達させないためにIRACコードを考慮し、同一系統薬剤の連用は避ける。
- (3) 防除にあたっては、適正な薬剤散布作業の実施、農薬使用基準の遵守、蜜蜂被害軽減対策など安全で効果的な防除に努める。

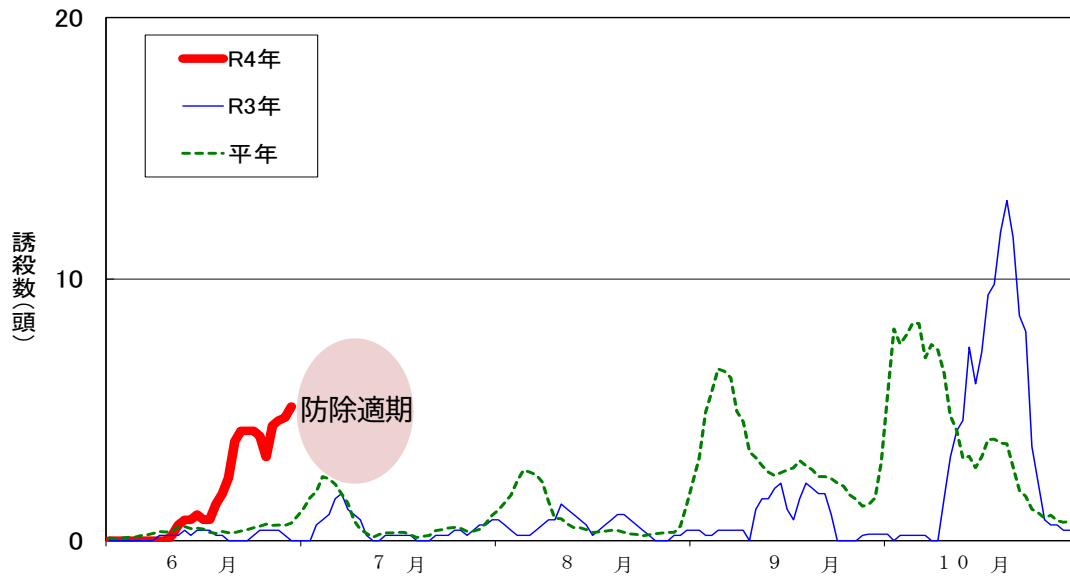


図 山口市大内のフェロモントラップによるオオタバコガ誘殺数(移動平均)

<参考>



写真1 オオタバコガの幼虫(左:中齢(約 15mm)、右:老齢(約 30mm))



写真2 オオタバコガによる食害(リンドウ)



写真3 オオタバコガによる食害(トマト)